

公開シンポジウム

これからの東アジアを占う—日中韓は連携を強化できるのか

2018年、北東アジアは大きな転機を迎える可能性が出てきた。これまで北朝鮮の核とミサイルの実験に翻弄されてきた北東アジアにおいて、中国は経済制裁に本腰を入れてきた。同時に、日本との関係改善に真剣に取り組むようになった。経済制裁は北朝鮮の姿勢をどのように変えるのだろうか。そして、韓国のスタンスも注目される。重要なのは日中韓の三カ国連携の強化である。

一方、米国のトランプ政権は、必ずしも北朝鮮に対する軍事行動を積極的に行おうとしていない。ロシア疑惑など米国内の様々な問題に対処する必要があるトランプ大統領は、北朝鮮問題の外交的な解決を望むだろう。

北東アジアの地政学リスクを管理するためには、日中韓の連携強化が必要である。その方策の一つは経済協力である。日本政府は中国政府が主導する「一带一路」構想について非協力的な姿勢を貫いてきたが、ここに来て、態度が軟化し、中国に協力する姿勢を示し始めた。

対立よりは協力したほうが地域の平和と繁栄に寄与する。重要なのはいかにして双方にとってウィンウィンとなる協力的な枠組みを構築するかである。

今回のシンポジウムでは専門家による講演とパネルディスカッションをもとに、地域間協力における静岡県の役割について政策提言を行う。

参加料無料
(要・事前申込)
定員300名まで

日時 **平成30年3月22日(木)**

13:00~17:00 (開場12:30)

会場 **静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ11階 会議ホール「風」**

(静岡市駿河区池田 79-4)



吉崎達彦



岡嵯久美子



奥園秀樹



柯 隆

プログラム ※途中休憩あり、演題は変更となる場合があります

- 13:00 開 会
あいさつ 静岡県立大学グローバル地域センター長 濱下武志
講 演 「地政学時代の日中韓連携」
 株式会社双日総合研究所 チーフエコノミスト 吉崎達彦
講 演 「日中両国経済環境の変化と東アジア地域協力への期待」
 一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹 岡嵯久美子
研究発表 「朝鮮半島をめぐる国際関係と日米中韓」
 静岡県立大学大学院 国際関係学研究所 准教授 奥園秀樹
研究発表 「習近平政権二期目の政策課題と中国経済の行方」
 静岡県立大学グローバル地域センター 特任教授 柯 隆
パネルディスカッション、質疑応答
 17:00 閉 会 〈敬称略〉

主催・お問い合わせ

静岡県立大学グローバル地域センター

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階

TEL: 054-245-5600 FAX: 054-245-5603 <http://global-center.jp/> E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

※グローバル地域センターのホームページからお申込みいただけます。

これからの東アジアを占う—日中韓は連携を強化できるのか

吉崎 達彦 (よしざき たつひこ)

株式会社双日総合研究所 チーフエコノミスト
(プロフィール)

1960年富山県生まれ。1984年一橋大学卒、日商岩井(株)入社。広報誌『トレードピア』編集長、米ブルッキングス研究所客員研究員、経済同友会代表幹事秘書・調査役などを経て企業エコノミストに。日商岩井とニチメンの合併を機に2004年から現職。関心領域は日本経済、米国政治、外交・安全保障論など。大阪経済大学客員教授、一般財団法人国際開発センター理事、NPO法人岡崎研究所理事などを務める。

岡崎 久実子 (おかざき くみこ)

一般財団法人キャノングローバル戦略研究所 研究主幹
(プロフィール)

1984年、東京外国語大学外国語学部中国語学科卒業、日本銀行入行。1997年6月以降、香港事務所次長、国際局シニアエコノミスト、金融研究所シニアエコノミスト等を歴任。この間、外務省経済局、米国ランド研究所、中国人民銀行上海総部に、調査研究員として出向。在学・在職中に、北京語言学院(1982年)及び香港中文大学(1993年)に留学。2016年4月より現職。

奥蘭 秀樹 (おくぞの ひでき)

静岡県立大学大学院 国際関係学研究所 准教授
同現代韓国朝鮮研究センター 副センター長
(プロフィール)

1964年福岡県生まれ。広島大学文学部卒業後、韓国延世大学大学院政治学科留学。広島大学大学院社会科学部研究科博士課程前期修了。九州大学大学院比較社会文化研究科博士後期課程単位修得退学。韓国で映画制作会社に勤務後、NHK記者、朝日新聞記者。韓国東西大学国際学部助教授を経て、2010年より現職。専門は現代韓国政治外交。

柯 隆 (か りゅう)

静岡県立大学グローバル地域センター特任教授
株式会社富士通総研経済研究所主席研究員
(プロフィール)

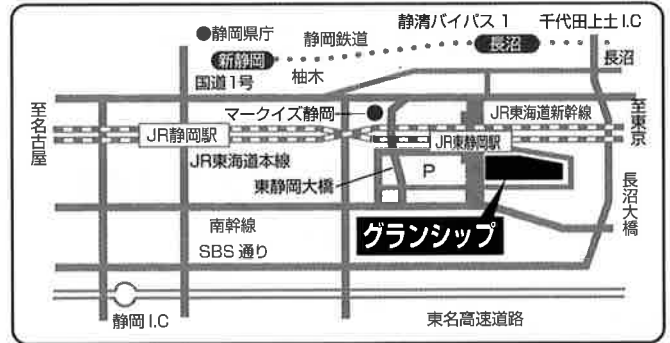
中国南京市出身。1994年、名古屋大学修士(経済学)。中国経済・金融を専門とする日本の代表的エコノミスト。分析力に定評があり、日本、中国、アメリカ等国内外で執筆・講演活動を行う。財務省外国為替審議会委員、財務省中国研究会委員等を歴任。著書に、『暴走する中国経済』、『爆買いと反日』、当センター中国自動車産業研究会の研究成果をまとめた、『日系自動車メーカーの中国戦略』(編著)ほか。

- 主催** 静岡県立大学グローバル地域センター
- 後援** 静岡県、(公財)静岡県産業振興財団、(公社)ふじのくに地域・大学コンソーシアム、静岡県信用保証協会、(一社)静岡県経営者協会、(公社)静岡県国際経済振興会、(一社)静岡県商工会議所連合会、静岡県商工会連合会、静岡県中小企業団体中央会、(独)日本貿易振興機構静岡貿易情報センター、静岡県日中友好協議会、(公財)浜松地域イノベーション推進機構(順不同)
- 協力** 静岡県立大学現代韓国朝鮮研究センター

会場の御案内

静岡県コンベンションアーツセンター
グランシップ 11階 会議ホール「風」(静岡市駿河区池田79-4)

- JRご利用の場合………静岡駅南口から車で15分
または東静岡駅から徒歩5分
- 静岡鉄道ご利用の場合……長沼駅から徒歩12分
- ★公共交通機関をご利用ください。



グローバル地域センター 公開シンポジウム(3月22日) 参加申込書

下記の申込書に必要事項をご記入のうえ、**3月19日(月)**までに、FAXまたは郵送にて「グローバル地域センター」までお送りください。ホームページからお申込みいただけます。なお、定員となり次第、締め切ります。

FAX・郵送先 〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-1 もくせい会館2階 静岡県立大学グローバル地域センター
TEL: 054-245-5600 **FAX: 054-245-5603**
http://global-center.jp/ E-mail: glc@u-shizuoka-ken.ac.jp

フリガナ 氏名			
会社・団体名			
参加確認書* の送付先	〒	TEL :	FAX :
	ご勤務先		ご自宅
Eメールアドレス	○をお付けください。		
今後、当センターからの講演会の案内を	希望する	希望しない	

* 順次、参加確認書(はがき)をお送りしますので、ご住所を忘れずにご記入ください。ご記入いただきました個人情報につきましては、静岡県立大学が開催する講演会のご案内にのみ使用いたします。